

2026年
秋号
Autumn

東政連

宅建業者と政治を結ぶコミュニケーション誌



声を届け、業界の未来を支える

INDEX

- 2 大瀧会長就任あいさつ
入会案内
- 3 第53回年次大会／
東京都議会 令和9年度東京都予算に対する要望聴取会
- 4 令和8・9年度役職者
主な選挙日程

東京都宅建グループ

東政連 東京都
宅建政治連盟



東政連ホームページ



東京都宅建政治連盟
会長
大瀧陽平

会員の声を力に、 未来を拓く東政連へ

本年5月27日の第53回年次大会において、東京都宅建政治連盟会長に就任いたしました大瀧でございます。会員の皆様のご期待に応えるべく、これからの東政連の発展と、会員の皆様のお役に立てる活動に全力で取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、現在の不動産業界を取り巻く環境は、物価や建築資材、人件費等の上昇に加え、住宅価格や賃料の上昇など、大きく変化しております。また、高齢者、障がい者、子育て世帯、低所得者など、住宅の確保に配慮を要する方々への住まいの確保も重要な課題となっております。

こうした状況の中、私ども東政連は、東京都宅地建物取引業協会（以下「都宅協」という）と連携を図りながら、会員の皆様が安心して事業を継続できる環境の整備と、不動産業界のさらなる発展に向けて、積極的に活動していくことが重要であると考えております。

去る9月3日には、都議会議事堂において、令和9年度東京都予算要望聴取会が開催され、都宅協と

東政連から出席いたしました。今回の聴取会では、東京都に対する要望事項について説明するとともに、都議会自民党の議員の皆様と、要望の実現に向けた意見交換を行いました。今後も、会員の皆様の声を都政に届け、その実現に向けて粘り強く取り組んで参ります。

東政連の活動においては、コンプライアンスを基本とし、都宅協との共存共栄を図ることが何より重要であると考えております。そのためにも、都宅協との意思疎通を一層深め、定期的な意見交換を行うとともに、これまでの答申等を踏まえた具体的な改革を着実に進めて参ります。

政治活動を通じて、会員の皆様の声を国や東京都に届け、不動産業界を取り巻くさまざまな課題の解決に取り組むことは、東政連の重要な役割です。今後も、国政・都政の動向を的確に捉え、関係する国会議員、都議会議員の皆様との連携を深めながら、業界の要望実現に向けて活動して参ります。

新体制のもと、東政連がより皆様に信頼され、必要とされる組織となるよう、役員の皆様と力を合わせ、一つひとつの課題に真摯に取り組んで参ります。

会員の皆様には、今後とも東政連の活動に対する一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

入会案内

「東政連では、新規入会者を募集しております」

東政連は、会員の総意により昭和49年に組織されました。東政連は、国民の住環境の向上と中小宅建業者の権益擁護、社会的地位の向上を図るために、一党一派に属さず、会員自らの手で業界の進路を拓く政治活動を唯一の業務とした組織です。ご一緒に東政連で政治を動かしましょう。

<入会費用と入会手続き> 東京都宅建政治連盟（個人）

入会時賛助金…50,000円（キャンペーン中）

年会費…6,000円（ただし、新規入会者は入会年に限り3,000円）

①都宅協に入会すると同時に、東政連への入会手続きをお願いしております。

②入会申し込みは、入会申込書で行います。

③入会費用は、左記となります。

④入会手続きは、あなたの事務所所在地を管轄する都宅協ブロック事務所等を通して行っていただきます。

※なお、詳しい内容につきましては東政連事務局までお問い合わせください。

東京都宅建政治連盟

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-2-4 東京都宅建会館 TEL.03-3264-5320 / FAX.03-3264-7148

東政連ホームページ <http://www.tou-seiren.jp/> 会員ログイン ID:member-seiren Password:member

第53回年次大会

東京都宅建政治連盟は5月27日、京王プラザホテルにおいて第53回年次大会を開催しました。大会では、令和7年度活動報告書・収支決算報告書、令和8年度活動方針・収支予算書、役員選任の各議案を審議し、いずれも承認されました。



冒頭、野口文男会長は、都議選、参院選、衆院選での推薦候補者支援や税制改正要望など、2年間の活動を振り返りました。また、本大会をもって会長を退任することを報告し、「一期2年間にわたり、会員の皆様方には大変お世話になりました」と感謝を述べました。

役員選任では、大瀧陽平氏が新会長に選任され、新体制がスタートしました。就任にあたり大瀧新会長は、歴代会長の思いを大切に受け継ぎながら、責任を持って事業執行に努めていく考えを表明。「何よりも会員の皆様方のご理解とご協力が最も大切」と述べ、今後の支援を呼びかけました。

挨拶する大瀧新会長

都議会自民党に令和9年度東京都予算への要望を提出

東京都宅建政治連盟と東京都宅地建物取引業協会は9月3日、都議会自民党の要望聴取会において、令和9年度東京都予算に対する重点要望を提出しました。東京都宅建政治連盟から大瀧陽平会長、小川賢一幹事長、齊藤仁志政策委員長、東京都宅地建物取引業協会から桑原弘光会長、三ッ石孝司副会長兼専務理事が出席しました。

要望は、①住宅確保要配慮者の住まいの確保のための連携強化、②福祉と連携した高齢者の住まいの確保、

③空き家の増加を見据えた対応——の3項目です。

住宅確保要配慮者への支援では、家賃上昇が続く中、居住支援が原則として区市町村の区域内に限られている現状を説明し、区域を越えた広域的な支援と行政間の連携強化を要望しました。意見交換では、都議側から具体的な連携方法について質問があり、転居先が別の自治体になると相談や見守りなどの支援が途切れやすい実情を説明。東京都が中心となって自治体間をつなぐ仕組みの必要性を訴えました。

また、高齢者の住まいについては「居住サポート住宅」の普及や制度改善、福祉サービスとの連携強化を要望。空き家対策では、相談窓口の周知・充実に加え、都民が所有する都外物件も含めた相談体制の整備や、既存住宅の流通・再生促進を求めました。



左から、齊藤政策委員長、小川幹事長、大瀧会長、桑原宅建協会会長、三ッ石副会長兼専務理事

東京都宅建政治連盟

令和8・9年度 役職者紹介



会長
大瀧 陽平
港



副会長
千葉 信行
世田谷



副会長
海老根 宏
千代田中央



副会長
谷 雄介
渋谷



副会長
松下 福利
北



幹事長
小川 賢一
千代田中央



副幹事長
昼間 隆之
足立



会計責任者
豊田 昌之
板橋



会計責任者職務代行者
村田 憲一
墨田



政策委員長
齊藤 仁志
調布狹江



総務委員長
井田 祐樹
荒川



広報委員長
山根 一浩
世田谷



選挙対策委員長
松永 磨章
町田



組織委員長
三野 太郎
大田



組織改革特別委員長
奈良部 年緒
文京



政策副委員長
小池 武次
豊島



総務副委員長
武松 伸人
江戸川



総務副委員長
横山 瀬如
八王子



広報副委員長
石井 貴之
品川



広報副委員長
浦部 純
武蔵野中央



選挙対策副委員長
宮城 清
新宿



選挙対策副委員長
塩月 哲朗
北多摩



組織副委員長
宍戸 功
葛飾



組織副委員長
福島 孝人
練馬



組織改革特別副委員長
鈴木 重之
千代田中央



組織改革特別副委員長
山ノ井 茂雄
港



幹事
山田 真一
江東



幹事
佐藤 慎
台東



幹事
五井 祐次郎
目黒



幹事
谷川 芳郎
渋谷



幹事
吉倉 恵一
北



幹事
大泉 泰政
杉並



幹事
井上 統介
中野



幹事
田和 洋太
国分寺国立



幹事
関谷 宗道
府中稲城



幹事
菅谷 康久
立川



幹事
露木 慎尚
西多摩



幹事
寺澤 利男
南多摩



監査
青木 堅治
葛飾



監査
藍 元秀
港



監査
永井 彰
立川

2026年 主な選挙日程

選挙の種類(定数)	告示日	選挙期日	任期満了日
新宿区長	11月8日	11月15日	11月23日
小金井市長			11月26日
品川区長			12月3日
西東京市議会議員(28)	12月20日	12月27日	1月20日